

水道用ポリエチレン管の 施工講習制度 について教えてください

Answer

1. はじめに

配水用ポリエチレンパイプシステム協会(以下、POLITECという)では、施工関係者及び事業体職員の皆様を対象として「水道配水用ポリエチレン管」の耐震性、長寿命性などの性能を生かすため、電気融着接合、サドル接合、メカニカル接合の方法を正確にご理解いただき、施工現場で実践していただくことを目的として、全国で「水道配水用ポリエチレン管施工講習会」を積極的に実施しています。

2. 水道配水用ポリエチレン管施工講習会について

(1) 一般的な施工講習会は、水道事業体もしくは地区の管工事組合からの依頼により水道事業体職員及び管工事組合に所属する施工関係者を対象として、依頼先にて実施しています。

ただし、この開催には後述する条件を満たすことが必要です。

(2) さらに、POLITECが主催し、全国各地で開催する「POLITEC主催施工講習会」があり、これは開催条件を満たさない管工事組合員、組合未加入施工関係者を対象としています。この講習会スケジュールは年度初めにPOLITECホームページに掲載しています。

(3) 一般施工講習会の開催条件は、第一に受講者数です。講習会開催の1回当たりの最少人数は16名で、最大人数は64名(※会場の制約を受けない場合)としています。

64名を超える受講者数の場合は分割しての実施となり、午前午後に分ける、開催日を追加する等で対応しています。

(4) 開催の第二条件は、講習会場です。

座学会場(屋内)として受講者数の机、椅子

の確保、実技会場として原則屋内の会場もしくは屋根のある駐車場などが必要で、かつ電気融着実技では商用100V電源を使用するため、屋内であればコンセント、駐車場など屋外であれば発電機が必要となります。この際の注意事項として、屋内での実技の場合、同一系統ではない複数のコンセントが必要となる場合があります。

なお、POLITECでは施工講習会開催のご依頼をいただいた際は、担当者が現地を訪問し、電源確保を含む施工会場の確認、運用の打合せを行うことを基本としています。

(5) 講習内容及びスケジュールについて、受講者受付後、受講証に使用する写真撮影を行い、座学では基本説明をビデオ放映(15分程度)、その後POLITEC認定講師が「施工マニュアル」をテキストとして、水道配水用ポリエチレン管の基礎知識、施工の際の注意事項などの説明を行います。その後電気融着接合、サドル接合、メカニカル接合の実技講習を行います。さらにその後、確認試験(ペーパーテスト・100点満点中70点以上で合格)、結果発表、補足説明、質疑応答を行い終了となります。

以上、全部で3時間半程度の講習会となります。

(6) 受講料は、一般施工講習会では12,000円(受講料、テキスト代、実技材料費、受講証発行手続き経費、受講証送料)、POLITEC主催施工講習会では15,000円です。

(7) 受講証の有効期限は設けていません。紛失の際の再発行は可能ですが手数料が発生します。

3. その他

(1) 施工講習会の開催実績として、新型コロナウイルス蔓延前は年間3,000名前後の受講者があり、令和2年9月末での受講証発行枚数は累計で53,546枚となっています。

(2) また、POLITEC主催の施工講習会とは別に、会員メーカーが主催する施工講習会も開催されています。

POLITEC発行受講証の取得義務、会員メーカー発行の受講証の取り扱いについては採用事業体のご判断となります。

(3) 施工講習会に関してのご質問はPOLITEC事務局までご連絡ください。